

第50回滋賀県芸術文化祭参加事業
【主催】草津市・草津市教育委員会

第58回

草津市美術展覧会

出陳目録



2020. 10.31^土 ~ 11.7^土 9:00 ~ 16:30
(令和2年)

草津市役所2階特大会議室

〒525-8588 滋賀県草津市草津三丁目13番30号

日本画、洋画、彫刻、
工芸、書、写真

【出品状況】

部門	一般出品数	入選数	特別出陳	総陳列数
日本画	10	10	4	14
洋画	54	54	11	65
彫刻	5	5	7	12
工芸	25	25	7	32
書	36	36	13	49
写真	90	90	9	99
合計	220	220	51	271

※特別出陳・・・審査員、出品委嘱者、市展委員、無鑑査資格者

【審査員】(敬称略)

日本画 石股 昭 (創画会会員、奈良芸術短期大学教授)
洋画 佐渡 一清 (日展会友、日洋会評議員 他)
彫刻 嶋畑 貢 (日展会員(特別会員)、日本彫刻会会員 他)
工芸 片山 雅美 (日展会友、京都工芸美術作家協会会員 他)
書 山本 清一 (日展会友、読売書法会理事 他)
写真 川岸 じろう (全日本写真連盟大阪府本部委員 他)

【表彰式】 令和2年11月7日(土) 16:00 ～
草津市役所 8階 大会議室

【批評会】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

【後援】(順不同)

朝日新聞大津総局・毎日新聞大津支局・読売新聞大津支局
産経新聞社・中日新聞社・京都新聞・NHK大津放送局・KBS京都
BBCびわ湖放送・株式会社えふえむ草津・草津市教育会・草津商工会議所
草津ライオンズクラブ・草津ロータリークラブ・草津美術協会
草津市21世紀文化芸術推進協議会・草津市国際交流協会

市展賞

洋画



《こもれび》
大西隆夫

日本画



《まなざし》
扇里砂子

工芸



《炎》
寺西健二

書

《劉崧詩》
倉崎富司（鳴泉）



写真



《儂さと華やかさと》
田村昌也

彫刻



《海辺の華》
高野裕子

日本画

展示順	賞名等	題名	氏名	雅号
1	佳作	秋から冬へ	後藤 寛治	
2	無鑑査	花八つ手	大橋 靖子	
3	市展委員	秋の日	早川 裕子	
4	審査員	呼吸	石股 昭	
5	市展委員	秋の日	稲岡 仁彦	
6	特選（京都新聞賞）	ミルキー・ウェイ	西野 薫	
7	市展賞	まなざし	扇 里砂子	
8	特選	Spring Note	丸山 有子	
9	草津市議会議員賞	残照参道	山口 正男	
10		夏をくぐれば	岡村 恵子	
11		静かな一時	太田 由紀子	
12		初夏の水生植物園	草川 京子	
13	佳作	奥入瀬溪流	伊地知 登美子	
14		ある晩秋の日	中川 きよ美	

※無鑑査の作品規格は、一般出品者とは異なります。

洋画

展示順	賞名等	題名	氏名	雅号
1	佳作	楽しい美術	園田 稔	
2		小窓よりしのびくる秋	尾崎 三千子	
3		灯籠のある社	柴田 みどり	
4	佳作	冬の伊根	吉田 安今巳	
5		大樹	戸田 廣子	
6	佳作	シーパラダイス	足達 滋	
7	佳作	水蓮	湯ノ口 敏雄	
8		花束	増山 恵子	
9	特選（草津商工会議所会頭賞）	『眼と精神』より	高野 裕子	
10	特選（草津市国際交流協会会長賞）	越前水仙郷	横田 隆子	
11		百済寺紅葉	江崎 啓子	
12	特選（NHK大津放送局長賞）	土偶・COSMOS	福原 和人	
13	佳作	木漏れ日-芦生の森	野崎 かおる	

展示順	賞名等	題名	氏名	雅号
14		晩秋の大正池より	井上 政憲	
15		信州中野	山田 ひで子	
16		途次	大野 詩央里	
17	草津市教育長賞	気配	石橋 国夫	
18	佳作	白い冬日	野田 嘉郎	
19	佳作	秋容	中山 徳子	
20	市展賞	こもれび	大西 隆夫	
21		愛でる香・花	伏木 章雄	
22	佳作	祝福（葉牡丹の花）	村上 陽子	
23	特選（読売新聞社賞）	秋の声	加藤 房江	
24		我家に咲いた可愛いバラ	谷嶋 昭代	
25	無鑑査	縁日で	上野 和子	
26	市展委員	景	山元 敏子	
27	市展委員	景	小山 万亀子	
28	無鑑査	水族館の一隅	中村 悦子	
29	出品委嘱	遠き日（エスキース）	岡島 春美	
30	審査員	向	佐渡 一清	
31	出品委嘱	北欧の静夜	新庄 拳吾	
32	無鑑査	茅ぶきの郷	櫻原 喜六	
33	市展委員	葉牡丹	田中 孝	
34	無鑑査	遊びの時間	木村 順一	
35	無鑑査	古里	和田 さち子	
36		電柱	古谷 久子	
37	佳作	行脚祈願の大草鞋	河合 千恵子	
38	佳作	希望を奏でる	溝辺 行雄	
39		黄色いバス	大森 治	
40		初秋の旅	森 綾子	
41	特選	遠い日、昭和の頃	石川 由紀子	
42	佳作	ラ・マスケラ -追憶-	福原 光子	
43	佳作	冬の菜園	四方 勉	
44	特選（BBCびわ湖放送賞）	仮面と静物	中村 琴梨	
45		森のひざし	三浦 武弘	

※題名、氏名、雅号については、常用漢字を使用しております。御了承ください。

工芸

展示順	賞名等	題名	氏名	雅号
46		湖畔の水辺（烏丸半島）	釜我 博康	
47		記念写真	中川 きよ美	
48		山里の民家	藤本 修	
49		ひるがの高原S・Aで雪遊び	中井 忠男	
50		「天正六年」（1578）安土山	眞野 秀一	
51		迷い道	川端 美知子	
52		朱華	加藤 愛結夢	
53		月あかり	佐々木 豊	
54		絵本「わたしのげぼく」より	吉村 正子	
55		夢をのせて	岡田 智美	
56		獅子がくる	野口 俊子	
57	佳作	カントリーロードⅠ	森 邦博	
58		紫妖の人様	讃岐 英知	
59		雲沸き立つ（上高地）	中村 和夫	
60		羽黒山五重塔	松本 博幸	
61		まどろみ	畠中 博	
62		滝	藪内 和子	
63		いにしえの風	中西 利夫	
64		初冬、草津川、散歩道	高田 信	
65		潤	佐藤 裕	

彫刻

展示順	賞名等	題名	氏名	雅号
1	佳作	不動明王 二童子	北川 良一	
2	市展委員	ハンナ	石田 秋次	
3	審査員	少女	嶋畑 貢	
4	無鑑査	挑む	伊庭 照実	
5	出品委嘱	すみれ	笹山 幸徳	
6	特選	遊び時間	木村 順一	
7	特選（毎日新聞社賞）	妖精	吉村 正子	
8	無鑑査	慈悲	安井 豊作	
9	市展委員	東洋のミュージズ（座像）～月あかりのなかで～	伊庭 靖二	
10	出品委嘱	出口が見えない！（コロナ禍）	土田 隆生	
11	市展賞	海辺の華	高野 裕子	
12	佳作	静と動	渡辺 紘	

展示順	賞名等	題名	氏名	雅号
1		山里の模様	福田 ちず子	
2		伝統モドコに魅せられて	青木 三佐子	
3		庭仕事	教野 妙子	
4		交錯	森貞 豊子	
5	出品委嘱	帰心	井隼 慶人	
6	審査員	赤器華映	片山 雅美	
7	出品委嘱	冬華	高橋 政男	
8		緑風	中野 和彦	
9	市展委員	麗か	奥河 基子	
10	特選（草津市21世紀文化芸術推進協議会会長賞）	希求の船（重ね鉢）	末岡 京子	
11		無題	石黒 丈雄	
12	市展委員	封	三原 サダ子	
13		不思議	東 颯人	
14		土星	家島 健二	
15		華の壺	教野 弘孝	
16		日常	森井 柊希	
17		五面花入れ	望月 公司	
18		りぼん	北川 恵美子	
19	佳作	春遠からじ	望月 富美子	
20		草津烏丸半島	忽那 靖	
21	佳作	丹生川の朝	森田 としゑ	
22	無鑑査	紅葉するホーキ草	江川 勝子	
23	無鑑査	うみのこ	下川 まち子	
24	市展賞	炎	寺西 健二	
25		growth tower	橋本 瑞樹	
26		明鏡止水	奥田 創太	
27	特選	カラー（color）	武田 黎子	
28	特選（中日新聞社賞）	焼締花器	梶本 宰輔	
29		沸騰	田谷 大喜	
30		晩秋	望月 眞寸男	
31		幻鉢石	幸田 卓也	
32	佳作	三位一体	高島 優翔	

書

展示順	賞名等	題名	氏名	雅号
1		漢詩 臨書	福村 悠香	
2		王漁洋詩	寺嶋 由美子	夢実
3		陶淵明詩	奥平 成明	
4	特選（草津ロータリークラブ会長賞）	岑参詩	吉川 幸子	
5		杜甫詩 旅夜書懷	西川 邦子	
6		漢詩	亀井 よし子	佳芳
7		長松	巖西 はるみ	春香
8		陶淵明詩	辻 美子	
9		柳宗元詩	園 滋	
10		鮑溶詩	目片 美千子	杏佳
11	佳作	王漁洋詩	田中 久美子	久華
12	特選（草津美術協会会長賞）	あくがれし	三浦 久美子	清舟
13	市展賞	劉崧詩	倉崎 富司	鳴泉
14	特選	郭武詩	平田 恵子	華陽
15	特選（産経新聞社賞）	送孫良玉還同安	田中 俊一	叡峰
16	佳作	郭奎詩	久保 敦子	紫湖
17	佳作	杜甫詩	古田 みちよ	
18		昼寝	長谷川 豊博	
19		黄玄詩	竹越 律子	湖春
20	佳作	于謙詩	安田 きよ子	清子
21		岑参詩	杉山 瞳	瞳
22	佳作	劉崧詩	岩田 恵子	
23		杜審言「渡湘江」	奥村 守男	守峰
24		易恒詩	太田 恵里佳	
25	佳作	崔元初に寄す	長谷川 久枝	桂園
26		林文詩	渡辺 嘉奈子	嘉香
27		丘濬詩	澤井 富蕙	富蕙
28		宋之問詩	目片 千代子	丹楓
29		懷鳴秋先生之京	相宗 真理	真翠
30		袁凱詩	猿山 由美子	水蛭

展示順	賞名等	題名	氏名	雅号
31		史鑑詩	近澤 桂子	
32	佳作	魯淵詩	鶴飼 千代子	紀香
33		五嶺	徳本 恵子	恵彩
34		舟次鐔津	馬場 愛子	愛雲
35		王禕詩	本坊 昌代	芳香
36		曲江	高野 裕子	翠光
37	無鑑査	漢詩	徳地 比佐美	湖咲
38	無鑑査	からっぽの箱	中西 長雄	長安
39	市展委員	論語より	及川 淳子	青湖
40	市展委員	万葉集	今居 潤子	青桃
41	出品委嘱	響	岡本 了壽	藍石
42	審査員	秋声金気流	山本 清一	南竹
43	出品委嘱	延年壽命長	岡田 優三	祖翠
44	市展委員	豁然	中村 徹	徹堂
45	無鑑査	春日雑詩	佐藤 隆道	翠皓
46	無鑑査	山崎方代の歌	中島 弘子	翠湖
47	無鑑査	鳳律驚秋風	小野澤 絹代	蕙湖
48	無鑑査	萬鶴飛	小倉 緑	翠苑
49	無鑑査	沈名孫詩	中村 清美	清婉

※無鑑査の作品規格は、一般出品者とは異なります。

写真

展示順	賞名等	題名	氏名	雅号
1		一蓮托生	常石 由美子	
2	佳作	赤い傘の女	臼井 充子	
3		転生	中野 一雄	
4		かもめ隊出動	北垣 節子	
5		あばれみこし	堀 政雄	
6		古都旅	中川 文二郎	
7	特選（KBS京都賞）	ガリバー降臨	稲田 義雄	
8		光と影の協演	赤枝 進	
9		夜帳の下りた大阪	山口 尚孝	
10		涼風に託す願い	小野田 研也	
11		茶摘みの頃	久島 正博	
12		山頂に生きる	安東 晋司	
13		アマゾネスマーメイド	白井 翼	

展示順	賞名等	題名	氏名	雅号
14	特選（えふえむ草津賞）	holiday	中村 友美	
15		水の精	丸田 良則	
16		梅は咲いたか	藤堂 裕子	
17		灯	西河 孝	
18		希望の光	河端 広三	
19		背くらべ	柴田 裕	
20		パパ大好き	中川 明子	
21		黎明	林 久雄	
22	特選（草津市教育会会長賞）	類杖	荻野 利子	
23		立ち話	今野 俊和	
24		錦秋のカール	鈴鹿 竹二	
25		里山晩秋	北山 忠	
26		錦繡	樋口 浩司	
27	佳作	神域へ	仲野 隆	
28		屋主	福島 正則	
29		冬の旅路	和田 義孝	
30		整然と	木村 孝一	
31		いろどり	西井 竜次	
32		祈り	濱村 昌義	
33	出品委嘱	漁港閑日（福井・早瀬にて）	西岡 伸太	
34		一隅の光さす	山本 清	
35		夜来の雨あがる・余呉の里	房安 幸夫	
36	佳作	夕映えの空	田中 康明	
37	審査員	銀髪の女	川岸 じろう	
38	市展賞	儂さと華やかさと	田村 昌也	
39	特選	集注	森岡 治夫	
40		藍色の軌跡	佐々野 京子	
41		朝マズメ	赤井 春雄	
42		秋光	藤田 文子	
43		2020非密の秋	松田 奉子	
44		TOP GUNへの道	池田 秀彦	
45		挑む	前田 鉄矢	

展示順	賞名等	題名	氏名	雅号
46		ナイス（街）ガイ	山田 力	
47	佳作	裂・台風禍	西岡 信夫	
48		厳冬に生きる	福井 斉	
49		激写	横山 康子	
50		流溪	岡本 展彦	
51	佳作	ノスタルジア レンガ壁	山元 英雄	
52		くぐる	山本 照夫	
53	特選（滋賀県芸術文化祭奨励賞）	訪問者	吉村 英光	
54		歓声	西谷 國雄	
55		始動	荻野 誠	
56		琵琶湖の日の出	立花 明敏	
57		遊泳	大西 峰代	
58		なごり雪	植田 信子	
59		緊張	倉田 幸雄	
60		くさつ夢風車撤去直前。最後の雄姿（2019.1.19）	前田 澄子	
61		山の上の教会	宮嶋 康明	
62		好奇心旺盛	奥村 健司	
63	特選（草津ライオンズクラブ会長賞）	好奇心	杉田 宏司	
64		命紅	寺尾 幹男	
65		湖畔の夕暮れ	西川 美恵	
66	市展委員	子猿の肖像	高谷 禮子	
67		彩 駆ける	猪飼 健司	
68	市展委員	黎明	山元 國一	
69		皆んな仲よし	本田 昭夫	
70		橋渡る未来は？	瀬戸口 初男	
71		神煙に祈る	山田 幸子	
72	特選（朝日新聞社賞）	白昼夢	松村 里子	
73	佳作	疫病払い	田中 博文	
74		初夏の調べ	長谷川 せつ子	
75		シャボン玉トンダ.....	横川 栄仁	

展示順	賞名等	題名	氏名	雅号
76		獲物	寺田 裕彦	
77		棚田厳冬	林 富士雄	
78		ちょっと一休み	寺田 吉廣	
79		好かれて	渡辺 昌克	
80	無鑑査	待つ	石田 多恵子	
81	無鑑査	親子	尾崎 良一	
82	無鑑査	夜明	山本 敏夫	
83	無鑑査	相棒	二宮 紀彦	
84	無鑑査	描く	木村 正司	
85		絶景かな！！	氷見 善信	
86		里の春	吉田 利男	
87	佳作	自分撮り	河野 一友	
88		樺の森	詫間 秀夫	
89		雨に唄えば	林 文信	
90		晩秋の水面	小寺 勝久	
91		がんばれ水泳ニッポン	伊吹 達郎	
92		秋陽の街	吉村 紀夫	
93		左義長の若衆	川合 潔	
94		バンビーノ	園田 みちゑ	
95		晩秋に咲く花	西村 幹夫	
96		黄金色に染まれ	箕 勝次	
97		夕景	中川 直人	
98		夜明のメタセコイヤ並木	臼井 隆正	
99		舞	杉立 好正	

日本画

(審査員) 石 股 昭

○総評

今年度は、応募数10点と前回よりも少なくなりましたが、寄せられた作品は、どれも時間をかけて制作されていて、本展出品の熱意を感じました。今後も多くの日本画作品の出品を期待致します。

○市展賞

「まなざし」

扇 里砂子

象という大きな動物を丹念に取材し、深く追求された作品です。

画面右に象を配置することで象の動きを上手く演出していることにも感心します。色彩においても、実物の色というより精神的な色彩へ昇華することで、象の憂いている内面の様子も描き上げている秀作です。

○特選

「Spring Note」

丸山 有子

葉牡丹の固有色に囚われず、自分の色彩として描いています。

緻密な描写が施され、画面に説得力を与えていることも作者の画力の高さを示しています。植物の持つ生命力をしっかりと感じ見事に描き上げた秀作です。

○特選 (草津市議会議長賞)

「残照参道」

山口 正男

作者がお寺の建物に向かう道中の心情が、石積みの階段や石垣の緻密な描写により上手く現わされています。

夕暮れに想いを馳せた作者の心情が伺われ、印象に残る作品となっています。

○特選 (京都新聞賞)

「ミルキー・ウェイ」

西野 薫

繊細な植物を深い色彩の世界に演出し、不思議なムードを上手く表現しています。現実の植物の存在というより、作者の内面の世界を現わす魅力的な作品です。

洋画

(審査員) 佐 渡 一 清

○総評

先ず、多様な表現様式があるのにとっても惹かれました。各自の描きたい対象やテーマを画面と向かい合いながら真摯に追求している作品が多くあることに熱意を感じる良い展覧会となっていると思います。

○市展賞

「こもれび」

大西 隆生

うっそうと繁る竹藪の湿り気のある雰囲気のみごとに表現されています。表現技法もプリントアウトされたようなフラットで独自性のあるものとなっていて魅力的です。今後の新たなモチーフへの展開を期待したいです。

○特選

「遠い日、昭和の頃」

石川 由紀子

時間の流れにとり残された物達が、今でも生き続けていることを語りかけてくるのが伝わってきます。画面に様々なものが配置されているのが、うるさくなく、かえって楽しく存在を主張している秀作です。

○特選 (草津市教育長賞)

「気配」

石橋 国夫

自然物を鉛筆のグレーで描き出し、ハーフトーンが美しい作品となりました。取り合せている帯状のものも有機的な造形物として、他のモチーフとの整合性もある心地よさがあります。

○特選 (読売新聞社賞)

「秋の声」

加藤 房江

重厚なマチエールをつくりながら、瓶の存在をつきつめていく中で面白い構成ができたと思います。少し単純になった感がありますが、灰色が汚れに見えず、色彩になっている味わい深いものとなりました。

○特選 (草津商工会議所会頭賞)

『眼と精神』より」

高野 裕子

多くの色相を使わず、また、形象もできるだけ単純にテーマを追求しようとした結果がにじみ出ている作品と感じました。少しカラーフィールド系の造形指向があるように思いますが、更に煮詰めていかれると良いと思います。

○特選 (BBC びわこ放送賞)

「仮面と静物」

中村 琴梨

身近にあるモチーフ(仮面)を取り上げ、その中心物から放射される自分のイメージを周りに色々なものを置くことで構成したのが面白い。それらの配置の仕方にも緊張感があります。

○特選（NHK 大津放送局長賞） 「土偶・COSMOS」 福原 和人

縄文時代の土偶からなののでしょうか。普通なら立体感を強調して、像そのものの説明をする方向で描かれることが多いのでしょうか。そうではなく平面的な図として扱い、コラージュ的な手法が興味深いです。

○特選（草津市国際交流協会会長賞） 「越前水仙郷」 横田 隆子

奇をてらうことなく、水仙の花を正面から捉え、群生している様子が量感をもって伝わってきます。少しマトマリすぎたようにも思いますが、水彩画のもつ素朴なよさが出ている静謐な作品です。香りさえ漂ってきそうです。

彫刻

(審査員) 嶋 畑 貢

○総評

現代を象徴する多様な表現が見られ、楽しい展覧会になりました。立体表現は、素材が何であれ、3次元の空間に自分の想いを託した創造的な形が立ち上がっていく面白味があります。今後も創作意欲と発想の喜びを感じながら、多数の作品が出品されることを期待します。

○市展賞

「海辺の華」

高野 裕子

彫刻の本質である量感、動勢、均衡の追求と、素材のもつ特性を生かしながら、新しいフォルムを発見している秀作です。

○特選

「遊び時間」

木村 順一

素材から受ける多様な材質感を巧みに操り、創作意欲と発想の喜びを感じる作品です。

○特選 (毎日新聞社賞)

「妖精」

吉村 正子

一見、素朴で、派手さはないが、技巧に走らず、内面からにじみ出る温かさと作者の愛情が感じられる作品です。

工芸

(審査員) 片山 雅美

○総評

第58回草津市美術展覧会、工芸の部の審査をはじめさせて頂きました。出品作品32点中、一般作品25点と、昨年の出品点数より8作品増えた様です。種別・内容は陶芸、染織、紙の作品で他素材の作品出品を望みます。賞作品を決める為には時間を掛け検討致しました。10代の学生さんの出品も増えているので楽しみです。今後、益々魅力有る市美術展覧会となることでしょう。

○市展賞

「炎」

寺西 健二

信楽の土で成形された、多面体で構成された花器で、信楽土の魅力を生かした焼締の火色と器底に溜った深い緑のガラス釉とマッチし、作品を力強く感じさせ印象的に焼き上げられた優作である。

○特選

「カラー (color)」 武田 黎子

黒くシャープな形で口広く延びのあるシンプルな花器作品であるが、表面に細かく黒・青・グレー・赤・黄色等の色土を花器全面に貼り付けデザインされ、装飾と用途にと、作者の作品に対する思いが伝わってくる作品である。

○特選 (草津市21世紀文化芸術推進協議会会長賞) 「希求の船 (重ね鉢)」 末岡 京子

手びねりか、土の板で成形されたか。船に見立てた楕円形の器を豪華船の様に積み重ねられた作品で、カラフルな色彩と切り込みや付け足したりと、遊び心とユーモアを感じ、観賞された人を楽しい気持ちにさせる夢ある作品。1段、1段が1つの器として使用もできる様に考えられている。

テーブルの上に並べられた時の作品も見てみたい。

○特選 (中日新聞社賞)

「焼締花器」

相本 宰輔

信楽の土をろくろ引きされた筒の花器。穴窯で焼かれ、灰がかぶり窯変と焼締の魅力と力強さがある器に、土で盛り上げた二本の帯と月か。作者のメッセージが感じられ、思いが伝わってくる作品である。

書

(審査員) 山本清一

○総評

出品点数は昨年とほぼ同じでしたが、作品の内容が多様になり、審査も楽しいものとなりました。佳作以上の12点を選出するのも苦勞し、上位5点の決定も大変悩みました。作品の内容が充実し、ハイレベルになってきたことは大変嬉しいことです。ただ、仮名作品が少なく、惜しい思いでした。来年更なる傑作の応募を期待します。

○市展賞 「劉崧詩」 倉崎 富司 (鳴泉)

文字の大小、墨量の潤渴の変化が自然で、曲直の動きを融合した縦への流れが素晴らしい秀作です。

○特選 「郭武詩」 平田 恵子 (華陽)

重厚な筆致と密度の濃い造形で充実感があり、他を圧する迫力に魅了される秀作です。

○特選 (草津美術協会会長賞) 「あくがれし」 三浦 久美子 (清舟)

潤筆はゆったりと、渴筆は雅味ある筆線で自然な変化を出し、行間の余白が美しい。渴筆の表現が素晴らしい作です。

○特選 (産経新聞社賞) 「送孫良玉還同安」 田中 俊一 (叡峰)

手慣れた筆使いで線が伸びやかな作。ゆったりとした動きで気宇の大きさを感じる。

○特選 (草津ロータリークラブ会長賞) 「岑参詩」 吉川 幸子

各行の充実感と左右の行の呼応する構成に秀で、ゆったりとした運筆で規模の大きな佳作。

写真

(審査員) 川 岸 じ ろ う

○総評

今年の第58回草津市美術展覧会は、例年になく写真部門の応募者が増加し、大変うれしく思っています。草津市民の皆さんの文化芸術によせる関心度が高まっており、特に、写真における作品の質の向上ならびに技術力の高さが感じられました。

○市展賞 「儂さと華やかさと」 田村 昌也

びわ湖の浮見堂をシルエットに配し、バックの華やかな花火の競演を写し込んだ作者の感性が光るショット。ダークな表現をされたことも成功しており、モノトーンを想像させる作品となりました。誠に秀悦な作品です。

○特選 「集注」 森岡 治夫

ものづくりに長けた老人の見事な手さばきを写し止めた作品は、見る者に感動を与えます。見事なシャッターチャンスを取り撮った作者のスナップ力を賞賛します。

○特選 (滋賀県芸術文化祭奨励賞) 「訪問者」 吉村 英光

林の中で光るカラフルなライトの光跡が面白い。写真にインパクトを与えています。作者の発想力の賜物です。

○特選 (朝日新聞社賞) 「白昼夢」 松村 里子

鉄塔の後ろから差す強烈な光で、まるで白昼夢を見ているような写真となりました。光の撮り込み方が上手で、見る者を夢の世界に引き込みます。的確な構図とともに優れた作品となりました。

○特選 (草津ライオンズクラブ会長賞) 「好奇心」 杉田 宏司

水面に現れた鯉を力強いカメラアイでとった作品が素晴らしいです。紅葉を配したことで作品に力強さが表現できました。

○特選 (KBS京都賞) 「ガリバー降臨」 稲田 義雄

美しい海岸に傘を持った不思議な男のシルエットが、幻想的な雰囲気醸し出しています。色合いも良くシンメトリーに切り取った構図が効いています。

○特選（草津市教育会会長賞）

「頬杖」

荻野 利子

老木の根を人間に見立てて、まるで頬杖をついているような作品です。多数の木の中からこれを発見されたことは誠に素晴らしいことです。モノクロでの表現は、見る者に深い感動を与えてくれます。

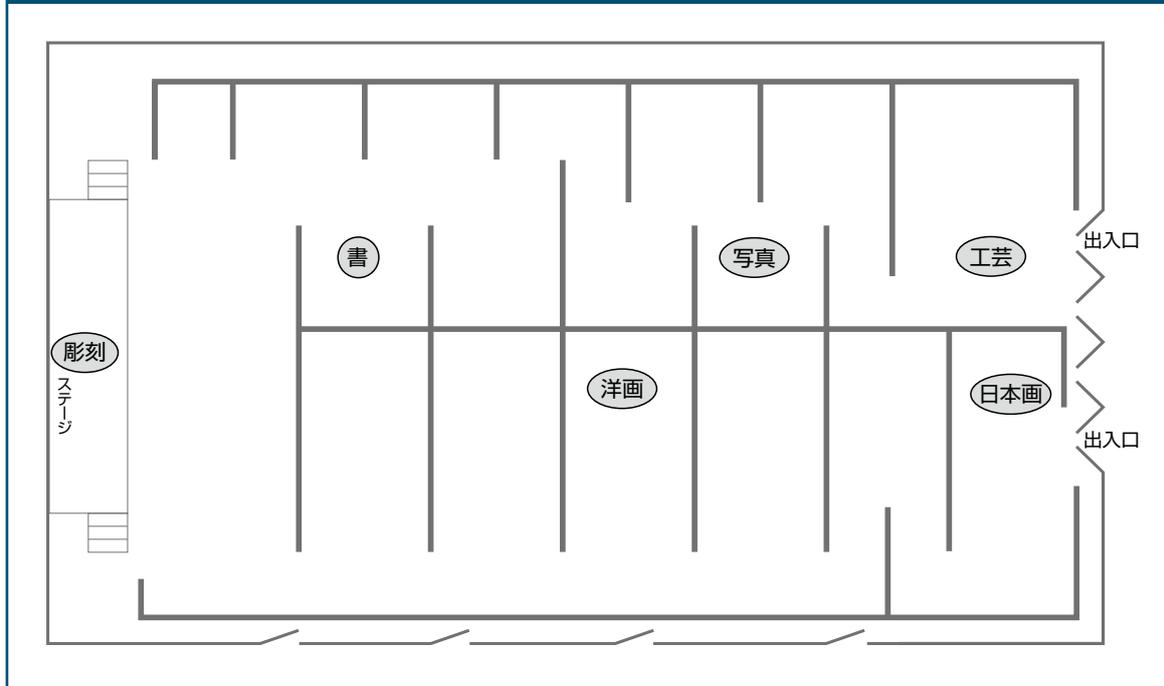
○特選（えふえむ草津賞）

「holiday」

中村友美

遊園地での作品ですが、ハイキー調にすることで、夢のようなファンタジーな作風となりました。切り撮り方も良く、表現力のある作品です。二人の親子を点景に入れたことにより、インパクトが増しました。

会場案内図



草津市民憲章

私たち草津市民は

- 一、古い歴史にとけあった新しい文化をつくり、
住みよいまちをきづくためにあたたかい心
を持ちあって、ともにあすへの歩みを進めましょう。
- 一、豊かな生産に努めましょう。
- 一、高い教養を伸ばしましょう。
- 一、明るい環境を整えましょう。
- 一、良い風習を育てましょう。